

第4回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和5年7月27日（木）

午後2時00分～午後3時30分

場所：岩室地区公民館 1階 講堂

<p>事務局 (真島地域総務課係 長)</p>	<p>皆さまお疲れさまです。ただ今から令和5年度第4回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>初めに配布資料の確認をお願いします。事前送付した資料として、本日の次第。資料1-1から1-5、各部会の状況について。資料2-1、令和6年度特色ある区づくり事業について意見聴取。資料2-2、特色ある区づくり予算について。資料2-3、令和6年度特色ある区づくり事業の流れについて。資料2-4、令和6年度特色ある区づくり事業の個人アイデアシート。資料2-5、令和4・5年度西蒲区特色ある区づくり事業について。参考資料1、令和4年度の特色ある区づくり事業の委員アイデア及び担当課の考え一覧。参考資料2、西蒲区役所新庁舎基本構想について。参考資料3、西蒲区役所基本構想策定スケジュール案。参考資料4、これからつくる西蒲区役所についてのアンケート。最後に、吉田委員の「西蒲区の課題の発言内容について」となっています。</p> <p>あと、本日机前にお配りした資料として「越後にしかわ時代激まつり参加者募集のお知らせ」のチラシになります。</p> <p>資料は以上ですが不足等はありませんでしょうか。</p> <p>それではこれ以降の会議については新潟市区自治協議会条例第9条の規定により、吉田会長から議長としての進行をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>それでは皆さま、お疲れさまです。第4回目となる本日も、どんどん活性化をしていきたいと思っていますので、ご協力よろしくをお願いします。</p> <p>また、各地の祭りも始まってきており、今後もいろいろなかたちで祭りがあるかと思いますが、私も個人的に、行けるところは行ってみたいと思っています。委員の皆さまも、いろいろな地区の祭りを見ていただき、「ここはこういうふうにやったらいいかな」とか、けっこう参考になるかと思っていますし、いろいろな西蒲区の課題等についての議論でも、意見がどんどん出てくるようになると思いますので、ご協力をよろしくをお願いします。</p> <p>また、本日は終わってから、各部会の懇親会がありますので、ぜひ皆さまも懇親を深めていただきながら、今後の部会が活発なることをお願いしたいと思っています。</p> <p>また、各課長についても、懇親会に分担して出いただくというかたちをお願いしますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、着座にて議事を進めていきたいと思っています。よろしくをお願いします。</p> <p>初めに本日の委員の出席状況と傍聴者について、事務局から報告をお願いします。</p>

<p>事務局 (真島地域総務課係長)</p>	<p>それでは委員の出席状況についてご報告します。委員 30 名のうち、本日の出席者は 29 名です。過半数の出席を確認しています。従いまして、新潟市区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規定を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、傍聴・報道等はありません。</p> <p>なお、事務局で録音をさせていただきますのでご了承願います。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議事(1)「各部会の状況について」です。資料 1-1 をご覧ください。各部部长は部会の状況を総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会の順に説明者席で報告をお願いします。</p> <p>その後、広報部会、調整部会からの報告をお願いします。</p> <p>初めに総務部会古島部部长、お願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>総務部会から報告します。先月開催された第 3 回総務部会では、令和 5 年度・6 年度区自治協議会提案事業について協議をしました。</p> <p>事前に委員で考えてまいりました、「部会として取り組みたいテーマ」を発表し、今年度の自治協議会の提案事業は「防災」をテーマにすることとしました。</p> <p>また、今日このあと行われる部会では、今年度実施する具体的な事業の検討と来年度の自治協の提案事業のテーマについて検討を行う予定です。総務部会からは以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>今ほどの総務部会の説明について、ご質問やご意見はありますでしょうか。</p> <p>続きまして保健福祉部会岩崎部部长、お願いします。</p>
<p>(岩崎委員)</p>	<p>保健福祉部会の岩崎です。</p> <p>先月開催された第 3 回保健福祉部会では、令和 5 年度・6 年度の区自治協議会提案事業について協議をしました。</p> <p>各自、事前に考えてきていただいた、「部会として取り組みたいテーマ」を発表していただき、令和 5 年度・6 年度に取り組む提案事業のテーマを「支え合い」としました。</p> <p>本日このあと行われる部会で、具体的な事業内容の検討を行う予定となっています。</p> <p>保健福祉部会からの報告は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>今ほどの説明について、ご質問やご意見はありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは岩崎部部长ありがとうございます。</p> <p>続いて、まちづくり・産業部会大橋部部长、お願いします。</p>
<p>(大橋委員)</p>	<p>まちづくり・産業部会の大橋です。</p> <p>まちづくり・産業部会から報告をさせていただきます。資料 1-3 をご覧ください。先月開催された第 3 回まちづくり・産業部会では、皆さまから多</p>

	<p>くの意見を出していただきました。</p> <p>自治協提案事業の実施にあたって、各委員から「部会で取り組みたいテーマ」について一人ひとりから意見をいただきました。</p> <p>いろいろ意見は出たのですが、3点ほどに絞りました。</p> <p>1つ目は、「既存のイベントや観光資源の魅力向上」です。</p> <p>2つ目は、「人と人とが交流できるシステムづくり」です。</p> <p>3つ目は、「農業の担い手不足の解消」です。</p> <p>今日の部会以降、テーマの絞り込みを行ってまいります。</p> <p>委員の主な意見は、資料に記載してありますのでご参照いただければと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ただ今の説明について、ご質問やご意見はありますか。</p> <p>各部会ともテーマが決まったということで、これから細かいところについて協議していくと思いますが、また部会内で「いろいろな人の意見を聞いてみたい」という意見がありましたら、ぜひ次回の全体会で、ほかの部会の委員にも聞いていただけると、もっと良いものができていくと思います。</p> <p>続きまして広報部会田中久美子部会長、お願いします。</p>
(田中(久)委員)	<p>広報部会田中です。</p> <p>広報部会から報告します。広報部会では、7月7日に、今年度最初となる部会を開催しました。会議では部会長および副部会長の選任、西蒲区自治協議会通信「じちきょう」第19号および第20号の発行スケジュールと、紙面構成を検討しました。</p> <p>協議の結果、部会長はわたくし田中、副部会長は鈴木委員に決定しました。</p> <p>発行スケジュールについては、「じちきょう」第19号は令和5年10月15日、第20号は令和6年3月15日に発行することとなりました。</p> <p>第19号の各ページの紙面構成についても検討を行い、昨年度と同様、A3で縦方向の掲載スタイルで編集します。</p> <p>紙面の表紙については、西蒲区内、各コミュニティ協議会のイチ押しのイベントの取材を掲載することとなりました。</p> <p>裏面については自治協議会の各部会の紹介記事、部会ごとの集合写真および名簿を掲載することとなりました。</p> <p>次回は、印刷業者を交えて記事の校正や紙面のレイアウトの確認を行う予定です。以上で広報部会からの報告を終わります。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ただ今の説明について、ご意見やご質問等ありますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>最後に調整部会については、私の方から報告をさせていただきます。資料1-5をご覧ください。7月18日に、会長・副会長および各常任部会正副部会長で構成される調整部会を開催しました。</p> <p>初めに、第9期に入り、第1回目の開催でしたので、正副部会長の選任を行い、部会長にわたくし吉田が、副部会長に田中副会長が選任されまし</p>

	<p>た。</p> <p>議題については、「令和 6 年度特色ある区づくり事業について」、「西蒲区自治協議会委員研修について」、「区自治協議会の会議開催日程について」の 3 点と、西蒲区役所新庁舎基本構想について事務局から報告がありました。</p> <p>協議した内容について、まず「特色ある区づくり事業」については、委員の皆さまから区役所が企画する事業について意見聴取を行うということで、スケジュールなどについて説明がありました。</p> <p>このあと事務局から詳しい説明がありますが、委員から意見聴取ということでアイデアを出していただき、それを各部会で協議するというので、アイデアの提出と活発な意見交換をぜひお願いします。</p> <p>「西蒲区自治協議会委員研修」についてですが、これは、区自治協議会委員のスキルアップを図り、今後の自治協議会および地域における活動での貢献を目的として、西蒲区独自で毎年研修を行っているものです。</p> <p>開催時期やテーマなどについて協議を行い、開催時期については 11 月の自治協議会本会議の前を予定し、テーマについては歴史・文化・成り立ち・コミュニティ・フードバンク等について講師を呼んで講演というのはどうか等、さまざまな意見が出ましたので、一度事務局で整理してもらい、再度協議することとしました。</p> <p>開催時期など、詳細決まり次第、改めて事務局より説明する予定です。</p> <p>「区自治協議会の会議開催日時」については、会議の開催について協議しました。</p> <p>今年の 3 月に、委員の皆さまに会議に参加しやすい日時について意向調査を行った結果、今と同じ平日の午後の開催を希望するという回答がもっとも多く、平日午前や夕方・休日などはあまり希望がないという結果でした。</p> <p>現在、欠席者も少ないことから、当面は現行どおり開催することとしました。私からの説明は以上です。</p> <p>ただ今の説明について、ご意見やご質問はありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは議事 (1) を終了します。</p> <p>続きまして、議事 (2) 「令和 6 年度特色ある区づくり事業について」です。</p> <p>この件は条例で規定されている、市が自治協議会の意見を聞かなければならない事項で、地域の意見を反映させるため、意見聴取がなされるものです。地域総務課長から説明をお願いします。</p>
事務局 (高橋地域総務課長)	<p>地域総務課長の高橋です。私の方から、議事 (2) 「令和 6 年度特色ある区づくり事業」について説明させていただきます。</p> <p>それではお手元の資料 2-1 をご覧ください。区役所が特色ある区づくり事業の企画立案をする際には、自治協議会に意見を聞くことが条例に定められています。</p>

そのため、来年度の特色ある区づくり事業について、今回皆さまから意見をいただきたいということで、説明をさせていただきます。

資料 2-1 については、市長名で自治協議会会長宛てに意見聴取の願いをさせていただいたものです。

続きまして資料 2-2 をご覧ください。

「特色ある区づくり事業」は 2 種類あります。1 つが資料の左側、区役所企画事業です。自治協議会の関与という欄をご覧ください。

こちらは意見反映型として、事業自体は区役所が企画・実施するものですが、この企画立案にあたり、自治協議会委員の皆さまの意見を反映させていただきたいというものです。

具体的には資料 2-5 をご覧ください。

表側に、令和 4 年度の特色ある区づくり事業を掲載しています。裏面には、令和 5 年度の特色ある区づくり事業を掲載しています。

裏面をご覧ください、魅力あふれる農水産物を供給するまちでは、継続して「にしかんなないろ野菜」のブランド強化・販売拡大事業として事業内容が掲載されています。

観光とスポーツ・レクリエーションのまちでは、継続「にしかん新ツーリズム誘客事業」として事業概要が掲載されています。

今回、来年度の区づくり事業についてご意見をいただくものですが、掲載事業に対する改善等のご意見でもけっこうですし、こちらにとられることなく、地域課題に対する新たな取り組みでもけっこうですので、ぜひ、委員の皆さまから多くのアイデアをいただきたいと考えています。

また、過去の委員の会議や、ご意見いただいたものということで、参考資料で掲載させていただいております。

参考資料 1 をご覧ください。

こちらについては、前期の委員の方から、令和 4 年度に意見聴取をさせていただいたものになります。

令和 5 年度の予算に対する意見となっておりますが、それぞれ区づくり事業に対して、地域課題などの提案を掲載しておりますので、のちほどご確認いただければと思います。

こちらのアイデア一覧については、委員の方からいただいた意見を事務局がまとめたものになります。

こちらについては提案内容と、事業の担当課、ご意見に対する担当課の考え方を掲載しておりますので、参考までにご確認をいただければと思います。

資料 2-2 に戻っていただきまして、先ほど区役所企画事業ということでご説明をさせていただきましたが、資料 2-2 の右側、区自治協議会提案事業については、現在、各部会において検討いただいているもので、自治協議会が主体となって、企画・実施していただくものとなっております。

また、こちらの特色ある区づくり事業の予算については、区役所企画事

	<p>業、自治協議会提案事業合わせて 2,900 万円の予定となっています。</p> <p>続いて資料 2-3 をご覧ください。こちらについては区づくり予算が確定するまでの流れということで、スケジュールを示しております。</p> <p>左側の区役所企画事業について、委員の皆さまよりアイデアを募集するものです。</p> <p>個人単位でアイデアを募集し、いただいたアイデアを部会の所管する分野に応じて、各部会に振り分けますので、部会においても協議をいただき、部会としてのアイデアの取りまとめをお願いします。部会での取りまとめの詳細については、このあと本協議会終了後の部会において担当者から改めてご説明をさせていただきます。</p> <p>区役所は寄せられたアイデアを参考に、区役所企画事業案を作成します。そして、予定になりますが、10 月の自治協議会全体会で、事業案をお示しいただければと考えています。</p> <p>最終的には、12 月の自治協議会全体会において、区役所企画事業と自治協議会提案事業の事業案を確定するという流れになっています。</p> <p>資料 2-4 をご覧ください。こちらは区役所の企画事業についてアイデアをいただくための用紙となります。</p> <p>ご自身が所属する部会のテーマをはじめ、所属する部会以外のテーマについても、アイデアのある方は 8 月 8 日火曜日までに、この用紙を地域総務課までご提出をお願いします。</p> <p>真ん中ほどに、西蒲区の区ビジョンまちづくり計画ということで、目指す区のすがたということで 5 つ方針が書かれておりますが、こちらについては、令和 6 年度より若干修正しておりますので、令和 5 年度、令和 4 年度と少し表現が違っているところがございますので、ご承知おきいただければと思います。</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>少し補足をさせていただきます。20 名の方が新任ということで、簡単に言いますと、部会で協議していただいているのは、区自治協議会提案事業です。</p> <p>それとは別に区役所の企画事業ということで、それについて皆さまより意見を出して欲しいということで、たまたま検討する期間が似たような感になるので、どっちがどっちか分からなくなってくるということがあるのですが、部会で協議しているのが、区自治協議会の提案事業です。</p> <p>これは、区役所企画事業ということで、今ほど説明がありましたが、ぜひ積極的に意見を出していただき、区の事業として、それについては資料 2-4 です。西蒲区区ビジョンまちづくり計画というものが令和 5 年から令和 12 年まで決まっていますので、これに基づいた内容で検討していくということになりますので、8 月 8 日までに事務局の方に提出いただきたいと思います。</p> <p>何かご質問等ありますでしょうか。</p>

	<p>よろしいでしょうか。またもし不安な点があれば、部会なり直接事務局に聞いていただき、ぜひ 1 人でも多くの方から意見を提出していただきたいと思えます。ただ、出したからといって、絶対令和 6 年か 7 年にやるということではありません。あくまでも、その考えや意見を参考にさせていただいて、それを区役所として取り入れるものは取り入れる、というかたちになりますので、ぜひ忌憚ないご意見をお願いします。</p> <p>それでは、議事 (2) を終了します。</p> <p>次にその他、西蒲区の課題・地域の情報などです。初めに西蒲区役所新庁舎基本構想について、高橋課長から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>西蒲区の区役所の新庁舎基本構想について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>資料は参考資料 2 をご覧ください。</p> <p>5 月の本会議でも、基本構想の検討会議のスケジュールをご説明させていただきましたが、検討会議が 1 回・2 回と進んでまいりましたので、改めてご説明させていただきます。</p> <p>まず、基本構想について、西蒲区役所では新庁舎整備に向けて令和 5 年度に基本構想を策定することとしています。</p> <p>その構想の策定にあたっては、民間の方 17 名で構成する新庁舎基本構想検討会議から、基本構想策定に関する意見書を議論いただき、完成した意見書を市長に提出いただく予定となっております。</p> <p>検討会議からいただいた意見書の内容を踏まえ、西蒲区役所でその意見書に基づき、基本構想を策定する予定となっております。詳しいスケジュールはのちほど説明させていただきます。</p> <p>検討会議の現在の進捗状況ですが、6 月 29 日から 10 月 26 日まで、全 4 回の開催を予定しており、第 1 回については 6 月 29 日開催しております。</p> <p>検討会議から基本構想策定までのスケジュール、区役所があらかじめ用意した意見書案について、委員から意見が欲しい旨をご依頼させていただいています。</p> <p>また、区役所に必要と思われる機能等についてアンケート実施をさせていただきます旨を説明させていただきました。</p> <p>7 月 13 日に開催した第 2 回の概要ですが、意見書に盛り込む内容について、委員の方からそれぞれご確認をいただいております。また、アンケート実施についても説明をさせていただきました。</p> <p>検討会の今後の予定ですが、第 3 回を 9 月 14 日に開催させていただきます。アンケート結果および防災拠点に関する専門的意見を踏まえ、意見書案を確認いただく予定となっております。</p> <p>また、第 4 回は 10 月 26 日に開催予定をしており、第 3 回までの検討内容を踏まえ、意見書案の内容を最終的に確認していただき、新庁舎基本構想検討会議の意見書としてご確認をいただく予定となっております。</p> <p>次に参考資料 3 をご覧ください。こちらについては基本構想の策定スケ</p>

	<p>ジュールとなっております。</p> <p>先ほどご説明させていただきました検討会議を、6月から10月まで4回開催させていただく予定となっております。</p> <p>また、検討会議とはまた別に、区民の皆さまからもアンケートにて意見をいただきたいということで、7月の中旬から、自治会宛て、小・中学校、高等学校にもお願いしておりますし、また、ホームページにもアンケートを掲載させていただき、8月18日まで、募集をさせていただいております。</p> <p>ぜひ皆さまの方からもご協力いただき、幅広くご意見をいただければと考えています。</p> <p>それから、第4回の検討会議が終わりますと、11月に、新庁舎基本構想検討会議から市長へ意見書の提出を予定しております。</p> <p>その意見書を基に、区役所の方で11月に基本構想案を策定させていただき、12月には市議会の常任委員会に、基本構想案を報告させていただき、そののちにパブリックコメントを実施させていただきたいと考えております。</p> <p>2月にはパブリックコメントへの対応、回答・修正等を行い、それぞれの結果を踏まえ、3月に基本構想の公表をさせていただければと考えております。</p> <p>次に、参考資料4をご覧ください。こちらについては先ほどご説明させていただいたアンケートの現物になります。庁舎の写真がついているものが、自治会回覧をさせていただいたものとなっております。こちらには二次元コードがあり、読み込んでいただくとアンケートが出てくるものとなっております。その場で回答いただけるものとなっております。</p> <p>アンケート用紙については、区役所および各出張所に設置しておりますので、ご記入いただける方はそちらを使用いただき、郵送・fax、または区役所・各出張所に直接持ち込んでいただきますようお願いいたします。</p> <p>皆さまから、これから造る西蒲区役所にどのような機能があるかということ、それぞれご意見いただければと思っております。</p> <p>区役所の機能は最低限必要なものはもちろん整備しますが、それ以外でこのような機能があつたらいいなということ、ご意見をいただければと思っております。</p> <p>問2ですが、区役所に西蒲区らしい特色や特徴を取り入れたほうがいいのか、またそれらの特徴・特色はどういうようなものなのかということにもご意見を聞きたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>私も検討委員会の方に、委員として出させていただいているので、若干補足説明をさせていただきます。</p> <p>前回の第3回自治協議会のあとに第1回委員会がありまして、そこで基本構想についてのアンケート提出の話がありまして、本来、自治協議会の代表として出ているので、自治協議会委員の皆さま全員にその用紙を配り、意</p>

	<p>見をまとめて出そうと考えておりましたが、6月29日の当日に配布され、7月7日までの締め切りでした。</p> <p>とても間に合うかたちではありませんでしたので、私の判断で、調整部会の委員の皆さまにその内容を送らせていただき、要望について回答をいただきました。</p> <p>皆さまにおかれましては、大変申し訳ないのですが、資料4のアンケートの方で回答いただき、お知り合いの方も含めてより多くの方からお答えをいただきたいと思います。</p> <p>今回はあくまでも基本的な考えの構想ですので、ぜひ、積極的に意見を出していただきたいと思います。</p> <p>また、これからつくる区役所については、今の場所で建て替えるということで、市長とすまいるトークの時も、中原市長がお話をされておりましたので、基本的にはそれをベースに今、進めているところです。</p> <p>ぜひともより多くの皆さんからアンケートにご回答いただきたいと思っています。</p> <p>ただ今の件について、ご意見やご質問等ありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>次に「越後にしかわ時代激まつり参加者募集のお知らせ」について、古島委員から説明をお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>西川コミ協の古島です。越後にしかわ時代激まつりについて、今年から出演者募集のポスターを作りました。</p> <p>これは西川に曾根の代官所がありまして、その由縁でこういうお祭りを実施してもう二十数年経つのですが、時代激に出てくれなんて言う「ゴムのかつらかぶって歩くのだろ」とのような感じですが、ポスターに創業八十余年、高津装飾美術による着付け・装飾とあえて記載させていただきました。</p> <p>この行列参加しますと、そのままNHKの大河ドラマや東映の時代劇にも出られます。そういうクオリティーで、なおかつお昼には地域の老舗の仕出し屋さんのお弁当がつきます。去年までは無料だったのですが、今年から経費のことも考えまして、かつらありの人で2,000円、かつらなしの人で1,000円という、出演に対してお金を少しいただくというかたちにはなりますが、出られた方は非常に喜んでくださり、「生涯の思い出になります」というお言葉をいただいております。</p> <p>ぜひ皆さま、所属の先にこのポスターを貼っていただいて、なにかすごいらしいよと一言添えていただくとありがたいと思っています。</p> <p>この成果もありまして、今年はこちらに出るためだけにカナダからお1人参加されます。だんだんこういうふうに広がっていけばいいなと思っています。</p> <p>今年のお代官役はBSNの行員寧々アナウンサーです。区長もどこかに出られるといううわさもちょっと小耳にはさみました。出演者60名、ぜひ皆さまお声がけいただいて、ご協力いただきたいと思っています。</p> <p>以上、よろしくをお願いします。</p>

議長 (吉田会長)	何かご質問等ありますでしょうか。 小林副会長、お願いします。
(小林(ア)委員)	時間は何時からでしょうか。
(古島委員)	着付けも入れますと朝の7時から12時半までです。
(小林(ア)委員)	夜の12時半でなくて？
(古島委員)	お昼の12時半です。
議長 (吉田会長)	大きいサイズはありますか。
(古島委員)	あります。まったく問題ございません。
議長 (吉田会長)	いちおう代表して聞いてみました。大丈夫だそうです。
(古島委員)	朝早いのですが、朝ごはんもつきます。 1か月ぐらい前からかつらの採寸も入りますので、本格的です。
(小林(ア)委員)	西川地区でなくても大丈夫ですか。
(古島委員)	大丈夫です。1割以上は町外から、県外の方も来ます。 80代の町娘もおられます。
議長 (吉田会長)	ほかにご質問ありますか。せつかくの西蒲区の事業ですので、より多くの方にご参加いただきたいと思います。 よろしいでしょうか。 ではよろしくお願いします。このポスターももし良かったら貼っていただけるとありがたいです。
(古島委員)	ぜひよろしくお願いします。
議長 (吉田会長)	続いて私の方から「西蒲区の課題」ということで公共交通をテーマとして、現状を皆さまからお聞きしたいと思っております。「西蒲区自治協議会：西蒲区の課題発言内容」をご覧ください。 前回の会議で、渡辺委員から、会議全体の活性化等の提案をいただきました。私の方で「どういうテーマだったら身近に感じるテーマでお話できるか」ということを自分なりに考えました。本来は協議なので、いろいろと意見交換をするべきだろうと思うのですが、まずは皆さまから1人ずつお話をいただき、それについて今後またいろいろなテーマでお話できればいいかなと思っております。 概要を説明させていただきます。まず、テーマについては公共交通について。オブザーバーなし。担当課の説明も不要です。表題については西蒲区内での公共交通について、現状を皆さまからお聞きしたいです。 私は巻9区生まれで、現在巻10区に住んでいます。自宅からJRの巻駅まで徒歩10分と近いところに住んでいますので、公共交通についてはあまり不便と思ったことはありません。バスは使いません。しかし西蒲区は広く、JR・路線バス・区バスについては非常に不便な地域も多いと思います。 自治協議会では、コミ協・各団体・公募の方で構成され、また、さまざま

	<p>な分野の方が集まっている会です。そこで皆さまが、西蒲区における公共交通に関して、常日頃思われていること、また、良い点やもう少し改善すべき点や、よそでこんなことやっているとか、西蒲区でこんなものがあると良いとか、これは団体からの意見ではなくて、あくまでも自分が今、住んでいる地域での個人の感想でもいいです。子どもの送迎が大変だとか、そんなことでもかまいませんので、ぜひ皆さま一人ひとりの意見を発言していただき、西蒲区内の実態を共通に認識、共有をしていただきたいと思います。</p> <p>この意見を参考に、本日の議題でもある特色ある区づくり事業の参考になればいいのではと思っています。</p> <p>ぜひとも皆さまの率直な意見を聞かせていただきたいと思います、挙げさせていただきました。例えば「路線バスをもっと増やしてくれ」とか、そういうことでも良いです。</p> <p>区長、各課長、西蒲区教育支援センター長、図書館長もいますので、そういった実態を、西蒲区に通われている皆さま、交通不便だと思っているところがあるかもしれません。今、住んでいるところで困っているもの、いい点もあると思います。南区は JR が通っていませんが、西蒲区は JR が通っているとか、そういったものを含め、発言をいただければと思います。</p> <p>時間も限られています。3時20分までこの時間を取っておりますので、お1人ずつ発言をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、小林副会長から行きたいと思います。どんなことでもいいですので、お願いします。</p>
(小林 (ア) 委員)	<p>私は潟東に住んでおりますので、交通機関はあまりありません。あまりないのですが、皆さん、そう困っているようすもないです。農家の方が多いので、少なくとも車が最低1台ありますし、農家ということは、朝晩も送迎ができる。だからバスがなくなったのだと私は思っています。</p> <p>いつもニュースかなにかで見ていると、あれが消えていく、これが終わっていくと聞きますが、自分たちが使わなくなったから終わるのですよね。</p> <p>私たちのところは終わってしまいましたが、今のところ不自由はしていません。</p> <p>でも、私の未来像としては、あと10年経つと車は乗れない、自分で買い物に行けなくなるということですので、できたら「とくし丸」のようなものが公民館に週1回ぐらい来ていただければありがたいなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>申し訳ありませんが、1人1分ぐらいでお願いしたいと思います。</p>
(渡辺 (忠) 委員)	<p>渡辺です。21日に、新潟市の公共交通の委員会がありました。それに傍聴人として見てまいりました。3センチぐらい厚い資料もらいました。中を見てもあまり分かりません。</p> <p>皆さま今日ここに来るために JR に乗って来られた方、それからバスに乗って来られた方、いらっしゃったら手を挙げてみてください。</p>

議長 (吉田会長)	ではいいですか。まず JR の方。なしでしょうかね。 バスの方は、なし。では、皆さん車ででしょうかね。
(渡辺 (忠) 委員)	はい。みんな元気な人たちだからこういうこともあるのだらうと思いますが、これが実は実態で、今、小林さんがおっしゃったように、必要なくなったから乗らなくなってきている。これは大前提。ここから考えを始めないとだめだと思うのです。 湯東の場合、路線バスはなくなったけれども、中学校か小学校のところへ行くと、送迎バスが 5・6 台、朝晩並んでいますよね。
(小林 (ア) 委員)	スクールバスですか。
(渡辺 (忠) 委員)	スクールバスが並んでいます。そういうことも、路線バスよりも安上がりになるのだったら、そっちの方をまずやっていくとか。今までやったからやっ払いこうとすると、とにかくお金がかかる。もうお金がかかることはできなくなってきたわけですから、そこを考える基にしたいと思います。以上です。
議長 (吉田会長)	順次お願いします。
(古島委員)	私は西川なので駅がありますけれども、JR を使うことがないです。くるくる回るマイクロ交通、青いものに乗ると医者だけ回る、赤いものに乗るとスーパーだけ回る、乗り換える時はスーパーの駐車場で乗り換えられるというような、ごくごく小さい交通網があればいいなと思います。 実際、仕事等でもその区に行くと、そういうふうな遅れているといえは遅れているのですが、私から見ると斬新に見えるのです。バス停はなくて、手を挙げれば止まって乗せてくれる。そんな交通網があつて細かくくるくる回れば、免許の返納率も上がっているいろいろな安心できるのではないかなと思っています。以上です。
議長 (吉田会長)	お願いします。
(田中 (久) 委員)	田中です。私は岩室地区に住んでいるのですが、しかも石瀬というところで、バス停はおろか駅もとても遠いです。 駅すらも車で 10 分ちょっとかかる場所にいるので、誰も公共交通機関を使わないです。 ですが、岩室温泉街行くこと考えると、そこに来る方はとても不便だと思います。駅からすごく離れているし、なにか公共交通機関があるわけでもないの、そこをどうにかして欲しいなというのはあります。 そういうものがスムーズに行けば、もしかしたらそこに通学の子たちも使える余地が出てくるかなと思うので、観光という意味で特に岩室地区のあたりはもうちょっと便がよくなったらいいのではないかなと思います。以上です。

議長 (吉田会長)	お願いします。
(古井委員)	<p>古井です。私は今、西区在住なのですが、地元が越前浜なので西蒲区に来ることはあります。越前浜にいた時から感じていたこととしては、駅がやはり近くないという中で、越前浜から巻西中学校に通うためには自転車通学禁止で、バスしかないのですが、そのバスが1日2本とかしかないのかなと思っていて、子どもたちのことを考えると、何かやはりちょっと難しいというか、苦しい部分があるかなと思っています。巻西中学校はたぶんスクールバスないので、どうしてもそのバスに合わせて学校出なければいけないということを考えると、今だからできる部活や学びというものが制限されている部分があるのではないかなというのは個人的に思っています。</p> <p>あと、それこそ越前浜だと海もあるのですが、やはり車でないと来ることができないということがあって、観光地としては全然栄えていないかなと思っているので、観光地化とまでは言わないですが、もっといろいろな人が来ることができるような公共交通機関というのがあったらいいのではないかなと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	お願いします。
(青柳委員)	<p>青柳です。私は南区在住で、今は西川に勤務しているのですが、昨年まで10年ほど潟東でお仕事をしていたのですが、潟東はお盆の頃に「おまつり広場・どろんこカップ」があって、冬は「カモねぎまつり」という2大イベントがあります。この時に、地域外から来るお客さんが、交通機関がないので、いつも電話で「どのように行ったらいいですか」「最寄り駅はどこですか」と聞かれた時に、JRの場合は越後曾根駅と答えるのですが、そこから歩いて1時間ぐらいかかってしまうんですね。</p> <p>車を持っていない方の中にも来たい方たちがいて、そういった方たちが実際にあきらめて来られないというパターンもたくさん耳にしてきましたので、周遊バスのようなものが潟東も通ると、地域外の人でも潟東に訪れやすくなるのかなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	お願いします。
(唐澤委員)	<p>唐澤です。住まいは西蒲区福井になります。私は移住してきて、福井に住んでいるので、昔の記憶とかはなく、しかも今夫婦と子どもで住んでおり、車2台で生活しているので、特段不自由な面はないのですが、まわりの高齢の方々がそろそろ免許返納しようかなという方々がいらっしやると、買い物はどうしようかという部分で悩んでいる方がいます。なかなか路線バスの本数が少ないとなると難しいのかなと思いますし、路線バス自体増やせるかという現実的には難しいのかなというのはあると思います。</p> <p>個人で車を持っている人が乗り合いで助けてもらってちょっと手間賃を</p>

	<p>となると、白タク行為がうんぬんとかで言われてしまうという課題があるのですが、規制なのかその細かい部分というのは分からないのですが、乗り合いとか毎回買い物に乗せてもらうというのはしんどいけど、正当な対価を払えば乗せてもらえるのであれば、車持っている家は多いわけなので、そういう支え合いがあるともっと普段の生活は楽になるのかなと思いました。</p> <p>あと、大学生が地域づくり等の手伝いに来てくれているのですが、やはりそこで足がないというので、「巻駅まで来てください」と言って、歩けば巻駅から1時間かかるので、迎えに行ければ迎えに行くという感じなのですが、やはりその学生さんとか、観光客含めて外から来る人たちが、地域にすぐアクセスできるというなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(鈴木委員)	<p>鈴木です。西川の升湯という農村地域に住んでいます。公共交通網がまるでないので、離婚しそうになりました。と言いますのは、嫁さんが足を骨折したので、車に乗れなくなりまして、今、高校生と中学生の子どもがいるのですが、冬場の送迎の問題が出てきたのです。駅まで送らなければならぬ。最悪だったら高校まで送ってあげなくてははいけない。中学校も「冬季は自転車禁止です」というふうになっているので、天気が悪ければ車で送ってあげる必要がある。そうした時に、自分も仕事・都合があるため、朝どう工面して、また朝だけではなく夕方というふうになるわけです。</p> <p>冷静に考えると、もう今の風潮としては、子どもが学校に通うのは親に送ってもらうのが当たり前になっています。子どもがちゃんと自分で通えるシステムがあるというのは、自分ひとりで行けるといところでその子どもの自立心にもつながることですし、すごく大事なところではないかなと思います。</p> <p>あとは観光的要素で考えていたのが、新潟駅や燕三条駅からの西蒲区の直行便のようなものがあるとおもしろいのではないかなと考えています。もっと良くなるといいなと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(若杉委員)	<p>私は職場が城山運動公園になりまして、知っている方は分かると思うのですが、ずいぶん里から離れた場所にあります。でも施設は大きいし、立派な運動場がいくつも重なった、総合施設になっています。</p> <p>そんな場所なのですが、今後中体連の解体に伴い、部活動が地域移行されるかと思っています。そういった中で、先ほど鈴木さんがおっしゃったように、家の人を送ってあげられないとスポーツができない、部活ができないというふうな家庭も当然これから出てきて、家庭に対する負担がどうしてもこれから大きくなるというのが予測されます。</p>

	<p>その中で、私たちの体育施設がそもそも里から離れているので、子どもたちだけで来るというのはやはり難しいところがあると思います。</p> <p>ですので、公共交通機関という枠なのか分からないですが、そういった放課後の周遊バスのようなかたちで、部活動のために運動場を利用してもらってもいいと思います。</p> <p>そういったところでひとつ案を出してもらって、子どもたちが不平等にならないように、みんなでフォローできればなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	お願いします。
(柳原委員)	<p>柳原です。私は西蒲区河井に在住しており、西区の寺尾で土地家屋調査士という業種で事務所を開いています。</p> <p>不動産登記を主に本業としており、その目線で公共交通について考えたのですが、路線バス・JRを段階的に増便しても、やはり利用者の減少だとか、そもそも今西蒲区の人口が減少してきているというところで、公共交通機関の増便だとかそういったことでなくて、巻潟東インター付近を例えにすると、大型スーパーだとか、分譲地を住みやすく都市計画の見直しをしていった方が良いのではと思いました。時代の背景を考えて、車社会はもう致し方ないなと思い、公共交通についてはこんな意見になってしまうのですが、私はそう考えさせていただきました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	お願いします。
(村山委員)	<p>私は西蒲区出身ではありません。十日町市出身なのですが、私が今住んでいる中之口の団地は「駅前団地」と言われました。</p> <p>駅は新飯田の駅です。もう駅はなくなってしまったのですが、いわゆる新潟交通の電通です。あれがあった時は、けっこういいなと思ったのですが、今そんなこと言ったところで復活できるわけではないと思いますが、希望は持っていたと思います。</p> <p>それから、私は老人の代表ということで来ているものですから、いつも班会の中でお医者さんに行くのに足がなくて困るとか、買い物に行くにも大変だというのは、私たちの中にはたくさんあります。</p> <p>できれば普通のバスに乗って行ければいいのですが、タクシーを使った時に例えば老人に補助券が出るとか、そのようなことがあってもいいのかどうか。公共交通と言っているのかどうか分かりませんが、バスとか電車というものが公共で、タクシーは特別だということになれば話は違うかもしれないのですが、班会の中ではそういった声が出ています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	お願いします。
(原委員)	<p>中之口の原です。高齢者一個人のぼやきとして聞いていただきたいのですが、新潟で飲み会があります。さて、私はどのようにして行ったらいいの</p>

	<p>でしょうか。もちろん車で行くのはいちばん手っ取り早くていいですが、飲んだら帰りはどうするのだ、JR で来ても巻駅。巻駅から中之口までどうやって帰る？高速バスを使ってインターで降りたところで、中之口までどうやって歩いて帰る？ふらふら酔っぱらって歩いて帰れるか？そんなことを考えていると、息子や娘と世帯が一緒ではなく、高齢者 2 人世帯で住んでいるので、迎えもなかなか難しい。そんな中で、今考えているのですが、身近な歯医者さん、身近なお医者さん、身近なスーパーや小さな百貨店、そういうところとお友だちになって、歩いて行けるような環境づくりを、車が乗れなくなった時のことを考えて、近くで済ませられるような環境をみずから作っているところなのです。なので、これは高齢者どなたにでも言えることだと思いますし、皆さまもゆくゆくは高齢者になっていくと思いますので、身近な問題としてちょっと頭の中に入れていただいて、皆さまも少しずつ考えていっていただけたらありがたいなと思います。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>お願いします。</p>
<p>(谷原委員)</p>	<p>中之口・潟東で活動させていただいていますが、バスは数本通っていますが、1日3・4本で、土日になればもっと減ります。乗っているのは、見てみると学生ばかりで、高齢者が乗っているかと言ったらたまに乗る程度です。</p> <p>でも、日頃車を使われている方がほとんどですので「いざ車を放した時にどうしますか」と聞くと、バスが何時にどこに来るか分からない、バス停がどこにあるのか分からない、と言います。</p> <p>以前、日頃娘さんが買い物してくれているけれども、娘さんが妊娠して出産するとしばらく買い物に行けない。そうなった時、どうしたらいいですかという相談を受けました。そうした時に、お元気な方なので、バスで白根のところに買い物に行くにはどうするか、いろいろ調べましたが、申し訳ないですが今のバスは本当に使い勝手が悪いです。</p> <p>乗り換えしていても、お店にたどり着けない。高齢になると、100メートル歩けない方がほとんどです。</p> <p>バスだと、ルートが違ければ、また、1本道が違ければ、もう乗ることができないというのが現状です。</p> <p>潟東の中でも、バスが通っていない地区もあります。そうなった時にどうしたらいいのかということで、今、その地区の方が一生懸命、いろいろアンケートを取ったりして考えているところもあります。</p> <p>ボランティアという話もありますが、それが10年先、自分たちができるかと言ったら、やはり自信がないという話もあります。</p> <p>若手を育てていくために、今から土壌づくりといった話も出ていますが、それでも今、実際にボランティアで行っているところも、先々の不安は皆さん持っておられます。</p> <p>そうなった時にどうしたらいいのかといったところで、本当に公共交通</p>

	<p>がまったくないところとあるところ、中央区と西蒲区の農村地の違いを考えると、本当に不便を感じている方が多いです。</p> <p>皆さま平等に、自分たちの努力をしながらも、外に出られるといった手段を皆さんと一っしょに考えていく必要があるかなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(小林(裕)委員)	<p>小林です。住まいは巻東6区というところで、比較的便利なところに住んでいると思いますが、自分の暮らしをかえりみても、移動はもうほぼ100パーセント車であり、JR・バスに乗る機会はないです。東京行った時ぐらいしかそういうところに乗らないなということを考えて、どのような案があるかなと思うと、私は社会福祉協議会に勤めていますので、聞こえてくるのはやはり、買い物難民とか、病院へ行くための手段がないという声がよく聞こえてきます。そういう方たちの希望というのは、自分の家からそこまで連れて行ってほしい、買い物に連れて行ってほしいという要望がけっこう多いし、自分も当初からそうなのだろうなというふうに思っています。</p> <p>お金がかかるものなので、現実的には無理かなと思いますが、例えばバスとかJRは考えずに、西蒲区内に限定して、アプリで何月何日私はどこに行きたいという情報を入力して、それを1日ずつ集めて、例えばタクシーをドアトゥードアで出すということではできないかと考えています。アプリだと、高齢者の方とか使いにくいところがありますので、電話対応するとか、いろいろなかたちでの対応を考えて、「オンデマンドタクシー」のような「オンデマンドバス」のような、そういうかたちにしたらどうかと考えています。ただ、お金がかかるので、ちょっと規制はかかるのかなと思いますが、そんなことを考えていました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(遠藤委員)	<p>峰岡地区に住んでいる遠藤と申します。やはりうちの方も、新潟交通の公共交通バスが今まで何便も通っていたものが、やはり乗る人がいないので、今は朝夕の子どもたちのバスだけで、ほとんど減便されているのが現状です。</p> <p>そこで皆さんの言っている意見と同じなのですが、峰岡地区は自然がたくさんあって移住してもいいなという声もあるのですが、「スーパーないよね」「病院も行くのも大変だよね」という声もやはり多いです。</p> <p>そこでタクシーの券とか、そういう声もいろいろあるのでしょうか、やはりこの地区で、本当に考えなければいけない問題だと思っています。</p> <p>昔は家族大勢で住んでいて、誰か子どもたちに乗せていってもらう家とかあったと思うのですが、今はほとんど核家族の家になっています。それで、お年寄り1人、2人で住んでいる家が本当に増えているのです。</p>

	<p>そこで私が考えるのは、公共交通機関に頼らずに、法律とかいろいろな問題がある中で、各地区でバスを出せるかどうかということを研究してみて、本当に切実な問題だと思いますので、考えていきたいと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(大橋委員)	<p>私は孫が学校に通っているのですが、仁箇に住んでいるものですから、巻北小に行くのに子どもの足だとやはり 40 分かそれ以上かかるので、特に雨とか、これからまた自然現象がだいぶきびしくなっているようで、そういう時にやはり今は車を運転できるので送ったりしていますし、また、嫁さんも送ったりできるのですが、距離的に子どもたちもなかなかきびしいという感じがあるものですから、何かしらのかたちで対応できればいいのかなと思っています。</p> <p>あと、自分たちが車を運転できなくなった時に、どのように対応したらいいかというところで、今現在は問題ないけども、今後の問題として考えていく必要があるのではないかなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(徳井委員)	<p>西蒲観光協会から来ています徳井と申します。住んでいるのは巻駅の近くです。交通手段はもうほとんど車かバイクなのですが、巻駅を背にして右側に塾があるので、その 2 階にちょっと面白い施設ができて、たまたまお話聞いてみたら、年配の方で、足がなくて困っているという人を助ける若者 2 人が立ち上げた会社で、タクシー会社を使うよりも安いと思います。</p> <p>1 時間いくらで、多少値引きもします。どこどこに行ってくれと言うと連れて行ってきて、とにかくかゆい所に手が届くことを目指していますという 20 代の男の子 2 人がやっています。</p> <p>僕も行って見たのですが、そうしたら岩室温泉病院の方からどうしても自分たちでやりたいということで出てきて、そこでやっていない体操で違った筋肉をつけるというものを目的で、笑いながら体操しましょうということで、ダーツがあったり、ビリヤードがあったりいろいろな意味で楽しいなというところがあったり、そういうところも、僕らもまだ歩けますし動けますけど、歩けるうちから体操教室通っておいた方がいいのかなという感じのところですよ。</p> <p>先日新聞折り込みで、牛の顔がついたチラシが入ってしまして、あれを見てもまったく分からなかったもので、もうちょっと分かるように宣伝してみたらと言っているのですが、どう説明していいか分からないということで足踏みしている状態のところですよ。</p> <p>もし気になる方がいましたら、私とはまったく友だちでもないのですが、その塾の 2 階にありますので、ぜひ立ち寄ってみていただきたいと思いま</p>

	す。ちょっと脱線しましたが、以上です。
議長 (吉田会長)	お願いします。
(野澤委員)	中之口の野澤です。今、商工会の役員をやっていますが、うちのところもなかなか不便な地域です。そして、運転免許の返納の機会というか、自分も含めて、あと5年・10年すると大変なことになるなと思っています。公共交通も大事ですが、今後乗り降りできないようになる可能性もあるので、近場に商工会というか、雑貨店を自分としては少しでも長く商売してもらいたいと思っています。市の補助でクーポン券とかなにか出して、少しでも存続できるような方向で、茶飲み話でもできるようなお店屋さんがあちらこちらでちょっと長く存続できるようなかたちにしていきたいなと考えています。以上です。
議長 (吉田会長)	お願いします。
(八百板委員)	西川に住んでいる八百板と言います。まったく個人的な感想で申し訳ないのですが、区のほうで出しているバスが2台ぐらいあると思いますが、私が出会った時にはいつもがらがらです。使い勝手が悪いのか、何が悪いのか分かりませんが、せっかくあるバスががらがらだともったいないですよ。もうちょっとなにかいい工夫というか、そういうのがあった方がいいのかなと思います。以上です。
議長 (吉田会長)	お願いします。
(本田委員)	<p>中之口の本田と言います。私が思っていることは、日々の生活の中で最低限必要なことは何かと考えた時に、日々のお買い物はもちろんですが、子どもたちが学校を選ぶ時に、どう通うかが選ぶための第一基準のようなところがあって、行き方から学校を選ぶようなところがあります。また、親世代にとっては医者通いが本当に大変ですし、やはりゆずれないものは、子どもの学校と親世代の医者通いというあたりかなと思っています。</p> <p>公共機関はバスがありますけど、けっきょく使いづらい、今のニーズにマッチしていないというのは確かなのかなと思っています。</p> <p>まわりの方とか家族ではない方とかが、支え合いというかたちで手伝ってくださるということもありますが、ほかになにか作らなければいけないのではないか、かゆい所に手が届くなにかを作っていかなければいけないと思います。</p> <p>どうかたちか、具体的にはまだ分からないのですが、でも、どこの地区の子どもさんも親世代の方もそういう面があって、自分にとってそういうものも絶対見えてくると思います。</p> <p>職に関しても、これも1つの職業というか、働く場所の提供もできると思うので、どうにか皆さんと、行政の方たちのノウハウもいろいろと教えて</p>

	<p>いただきながら、その地区独自で作らないといけないと思っています。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>お願いします。</p>
<p>(池浦委員)</p>	<p>潟東の池浦です。よろしくお願いします。</p> <p>潟東は昔から住んでいるわけではないですが、嫁に来た時、陸の孤島だなと思いました。</p> <p>今まで言われたものとまったく同じで、どうやったら行けるのかをまず考えて、新潟に飲みに行くとか誘われても、帰りをどうするか考えてしまうし、子どもの通う学校も、成績も必要ですが、マイクロバスを出している学校を選ぶとか、親が新潟のほうに行くなら西川の方が巻へ行くよりも、越後曾根駅の方が少しでもお金が安いから、向こうまでおじいちゃん、おばあちゃんが送る役目をしたり、そんなふうを考えないといけないです。</p> <p>家の前もバスが通るのですが、ほとんど乗っている人はいなくて、もったいないなと思っています。</p> <p>近くの病院ができた時も、通にくい人や通えない人は、病院からバスが出て、送り迎えしてくれるところがあるのですが、できた時は、となり近所というか、村を越えて通っていらっしゃる方もいたようなのですが、最近は個人病院ができたり、開業医も近くにできて、バスだと朝乗って、診療して薬もらってちょうどいい時間に出るようにはなっているが、やはりすぐ診てもらえる先生のところに変えたと言われると、自家用車で通っていた人たちは、もうそっちのほうがもうくせになっているのだと、自分の行きたい時間にも出られるし、通えるうちは自分で行くとか、誰か家族がいれば連れていくし、というような感じで、バスに乗るとかそういう習慣が薄くなっているような感じがします。とくに子どもたちは、時刻表の見方すら分かりません。</p> <p>私たちは小さい時から、電車やバスの時刻表を見ていて、その前後の計算もしていましたが、今の子どもたちはあまりそういうこと関係なく、「行きたい」と言ったらすぐ誰かが連れていってくれる。「もうおうちに帰る」と言えばすぐに帰れるという感じで、若干わがままもあるのかもしれませんが。バスもどんどん小さくなってきていますし、この前もタクシーを呼んだ時に、タクシーも台数が少なくなっているので「すぐには行けません」「この時間は無理です」というふうに言われたので、けっきょく自分たちが燕三条まで迎えに行ったり、送ったりしないといけないような感じで、コロナの関係もあって台数が減っているのだねという話になったのですが、やはりなにかを変えないといけないのかなと思いました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>時間がオーバーしたので、少し短めにお願いします。</p>
<p>(渡辺(美)委員)</p>	<p>西川の渡辺と申します。私がいちばんへき地の不便なところに住んでいるのかなと思ったら、私よりももうちょっと不便な方がたくさんいらして、</p>

	<p>びっくりしています。</p> <p>子どもたちが小さい時は自転車で学校行きました。今はその子どもたちは1人もいません。私のような高齢者が、2人家族、1人の人もいます。だからこれからは「どうしようもない」というのが1つ。</p> <p>あと、公共のバスとかなんだかんだ言っても、簡単に「はい、やります」ということはたぶん言えないと思います。</p> <p>だから、自分の健康に気を付けて、いつまでも車に乗られるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(小林(正)委員)	<p>角田地区の小林と申します。住んでいるところは越前浜です。</p> <p>私の考えでは、今ぐる～んバスがありますが、あれが公共的なかたちで、増便とかコースの展望とかを検討して、より簡単に、より早く乗れる体制を作って、見直しを図ったらいいいのではないかと私は考えています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(岩崎委員)	<p>松野尾の岩崎です。簡単に言うと、高齢者の一人住まいが非常に増えてきて、私が親を医者に送って行った時に近所に知っている人がいて、聞いたら自転車で医者まで行きましたと。赤塚なのですが、3キロほどあったと思うのですが、県道を走ってきたと言っていました。非常に危険です。あとはわれわれ自身も年を取れば車にも乗れなくなる。そんなことがあるので、地域で頼みやすい仕組み作りが大事ななと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(上原委員)	<p>お疲れさまです。上原です。私が住んでいるのは旧巻町で角田山の登山口のふもとに住んでいます。おかげさまでバスは朝・お昼、2便来ていますが、乗る人はいません。というのも、地元から巻へ直接行くのではなくて、角田地区にいったん回ってから行くのです。そうすると、距離が2倍以上になります。そういうのもあって、乗る人は誰もいません。</p> <p>私も子ども2人いて送り迎えをずっとしていました。今は孫の送り迎えをしています。地元の峰岡地区で考えると、少子高齢化、また、免許返納をして移動にすごく不便を感じるという話を聞いて、コミ協の中で真剣にコミュニティタクシー、福祉タクシーを一生懸命考えたのですが、なかなかハードルが高くて今にいたって実施することができていません。もう3・4年経っていますが、それもこれから続けていかなければいけないと思っています。</p> <p>峰岡地区は中学校がすごく遠いです。今、バスを使って通学しているわけですが、それも何年かに一度、区との見直しがありまして、大人は我慢する</p>

	<p>から、子どもだけは絶対学校に行けるようにしてくれと、いつもお願いしているところです。</p> <p>子どもたちが行ったあとのバスはがらがらです。誰も乗っていません。それが現状だと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(栗原委員)	<p>栗原です。漆山に住んでいます。バスは1時間に1本だったと思います。皆さまのお話を聞いていると、乱暴かもしれませんが、路線バスは通勤・通学・スクールバス、あとは全部乗り合いバスのほうがいいのではないかなと思いました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(石田委員)	<p>巻の石田です。普段、自家用であちこち回っていますので、公共交通について私はあまり考えたことがありません。</p> <p>私が考えるのは、路線図が欲しいということです。バスがどこを走っている、JR 越後線がどこを走っている、ぐる～んバスがどこを走っているというような、東京にある地下鉄路線図のような図面があれば、分かりやすいのかなと思います。</p> <p>例えば潟東から中之口に行く時に、いったん潟東から巻に来て、巻から中之口行かなければならないという欠点も見えやすくなると思います。そういうものは例えばぐる～んバスで回るとか、路線図があったほうが、なにか、いいところ、悪いところが見やすくなるかなと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>お願いします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>岩室の田中です。皆さまのお話を聞いていまして、社会全体で高齢化が進んでいる中で高齢者の移動手段というニーズが非常に高まっていると思っています。</p> <p>特に買い物、あるいは通院についてのニーズが各地区で高まってきていると思います。行政はもちろんのこと、各コミュニティの中でどのような支援ができるのかということが関わってきています。</p> <p>私が住んでいる岩室間瀬地区では、高齢化率が54パーセントということもあり、非常に高い数値になっており、買い物難民もいるということで6年前からマイクロバス、ジャンボタクシー2台を仕立てて、月2回、買い物バスとして巻の方まで移動しています。これが6年経ってもまだ運行しており、地域の方、高齢の方に大変喜ばれている状況です。</p> <p>あとは、通院がなんとかならないかという声もいただいております、これは今後の研究課題として取り組んでいこうかなと思っています。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>皆さま多くのご意見をありがとうございました。今ほど田中副会長がお話しした間瀬地区のバスについて、また機会を見て、内容を説明してもらお</p>

	<p>うと思います。</p> <p>時間の方が過ぎておりまして大変申し訳ありません。皆さまそれぞれいろいろな思いがあるということが分かっただけでも、非常にありがたいですし、どのように議論していったらいいか、われわれ二役の方でも考えていきますし、また、皆さまが個人でも、いろいろな提案を出していただければと思っていますので、よろしくお願いします。</p> <p>ほかに議論したいことがある方がいたら申し訳ないですが、時間の都合で、イベントの PR であればお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは本日の議事はすべて終了しましたので、進行を事務局へお返しします。</p>
<p>事務局 (真島地域総務課係長)</p>	<p>ありがとうございました。最後に事務局から次回の自治協議会についてご連絡します。</p> <p>次回の自治協は 8 月 31 日木曜日の午後に開催予定です。</p> <p>会場は本日と同じく、岩室地区公民館となりますので、お間違えのないようお願いします。</p> <p>ご案内については、あとで文章を送付させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>なお、このあと各部会を開催します。会場は、総務部会がこの講堂。保健福祉部会は 3 階の大会議室。まちづくり・産業部会は 3 階の視聴覚室になりますのでご移動をお願いします。</p> <p>部会の開始時間については、約 6 分後の 15 時 40 分からお願いします。移動の際はお手元の名立てを持ってご移動をお願いします。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和 5 年度第 4 回西蒲区自治協議会を終了します。ありがとうございました。</p>